

別記様式(第7条関係)

会 議 録

- 1 会議の名称 令和4年度 第2回富士川町健康づくり推進協議会
- 2 会議日時 令和5年3月14日(火) 午後7時30分～午後8時30分
- 3 開催場所 富士川町役場 本庁舎2階会議室
- 4 出席者数 (1) 委員 10名(欠席者1名)
(2) 事務局 10名
- 5 議題 健康増進計画 令和4年度単年計画の実施報告について
その他(高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について)
- 6 審議会内容
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 議事
 - ① 健康増進計画 令和4年度単年計画の実施報告について
 - ② その他
 - (4) 閉会
- 7 発言の内容
 - ①健康増進計画 令和4年度単年計画の実施報告について
事務局 資料を基に健康増進計画令和4年度計画の実施報告をした。また、委員より、資料内容の指摘があり、一部間違いがあったため、訂正をした。

委員 町の総合健康診査を受診した方の結果について、単年のデータだけでは、腎機能がどれだけ悪いのかがわかりにくい。経年的な経過をみるなど、わかりやすくすると良いと思う。

委員 糖尿病性腎症の人が峡南地域に多い。重症化予防の取り組みが必要。医師にも適切な時期に専門医へ紹介をしてもらえるように伝えた。住民は、どうしてこの数値が悪いのかという意味を知ることが大切。

委員 知人が体調不良で、救急車で富士川病院に収容された。急性心不全だった。透析が必要となったが、富士川病院では透析ができないため、転院となった。なぜ、収容されたのか。

委員 明確な理由はわからないが、診断の過程で透析が必要になったと思われる。救急は重症度により、収容先が決まるのではないかと。

委員 重症化予防プログラムは国が作成したものか。

事務局 国が作成した。

委員 書いてある人が対象者か。

事務局 糖尿病かつ腎機能が低下している人が対象であり細かい基準がある。

委員 資料より、糖尿病性腎症重症化予防プログラム『かかりつけ医との連携した取り組み』の対象者はいなかったと記載されているが、なぜか。

事務局 医療機関から保健指導が必要な方の連絡がなかったためこのような記載をした。

委員 保健指導につなぐことができると、対象者にその方の状況を伝えたり、行動変容を促すことができると思う。かかりつけ医と上手く連携できると良いが、具体的なかかりつけ医との連携方法があるか。

事務局 かかりつけ医と住民の健康状態について共有し、個別の対象者の連携を進めていく予定である。

委員 重症化する手前でできる、取り組みがあるといい。例えば、重複・多受診の方への訪問時に、健康状態についての、情報提供を行う等で

きるといい。

委員 県内の一部の病院で、処方箋に検査値を掲載している。薬局としても、処方箋に検査値が掲載されているだけで、重症化予防をする手前での行動ができる。

委員 地域組織として愛育会や食生活改善推進委員会は、今後、別組織等とコラボレーションをすると、新たな情報が得られるのではないか。

委員 スポーツ推進員協議会では、新型コロナウイルスの影響で3年間本来の活動はできなかったが、令和4年度は規模を縮小し別の形でイベントを実施した。令和5年度は、どのようになるかわからないが、少しずつ、元の形に戻している。

委員 町の死因第3位はがんと記載されているが、1位と2位は何か。

事務局 1位は呼吸器系の疾患、2位は他に分類されないものとなる。

委員 国が発表している死因1~3位と大きく違うので、分析が必要と思われる。

②その他（高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について）

事務局 資料を基に「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について」を説明をした。